

熊本地震

地震をおこす断層

熊本でおきたような地震は福岡でもおきるかもしれません

に備えておくことが大切です。

るかもしれません。油断せずに地震

た。

の玄界灘で大きな地震がおきまし

た。

今後もどこかで大きな地震がおき

るかもしれません。油断せずに地震

に備えておくことが大切です。

私たちが暮らしている福岡県となりの熊本県で大きな地震

がおきました。家がこわれたり、山がくずれたりしているのを

テレビで見ると、地震のおそろしさがよくわかります。

地震は「断層」という地下の固い岩がこわれたり、ずれたりし

たときに発生します。この断層は日本中あちこちにあります。

おじいさんやおばあさんが「この地域では地震が少ないから

安心だよ」と言っても、おじいさん

たちも知らない遠い昔に、大きな

地震がおきていたかもしれません。

小学生のみなさんは知らないと思

いますが、今から11年前には福岡県

の玄界灘で大きな地震がおきまし

た。

今後もどこかで大きな地震がおき

るかもしれません。油断せずに地震

に備えておくことが大切です。



2016年	5月16日	月曜日
平成28年		
福岡管区气象台	〒810-0052	
防災調査課	福岡市中央区大濠 1-2-36	
電話	092-725-3614 (記事) 092-725-3600 (天気相談所)	
メール	fk-kanku@met.kishou.go.jp (ご意見・ご要望はこちらまで)	

《お天気 Q&A》

Q: 緊急地震速報のアラーム音は、テレビでしか、流れないのですか。

A: テレビ以外にもラジオでも同じ音(ピロンポロン)が流れますが、今回の熊本地震では多くの皆さんが携帯電話のアラーム音を聞いたのではないのでしょうか。

緊急地震速報が発表されると、すべての携帯電話から一斉にギュイギュイギュイというアラーム音が鳴りだします。身を守るための合図ですので、音をよくおぼえておいてください。



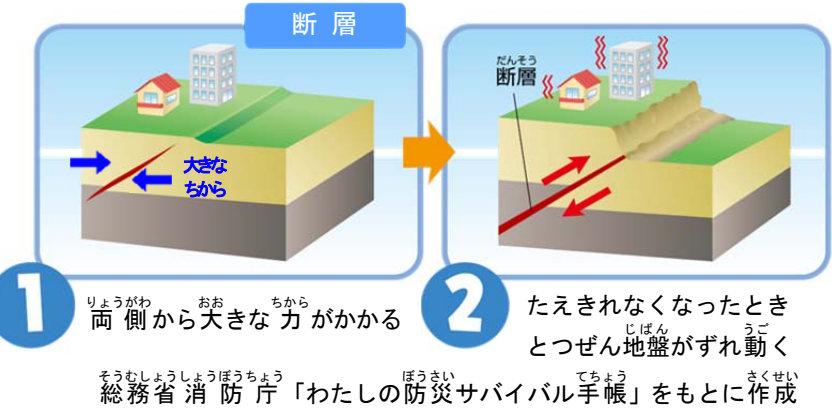
気象情報へのアクセス

熊本地震のことを知るには

熊本地震 関連情報 検索

アラーム音を聞くには

地震 訓練 検索



地震から身を守るために何をすればいいのでしょうか

地震から身を守る

重いものを高い所に置かない



大きな家具は固定する



する対策をうちの人の人にお願ひしましょう。

高い本棚などはつつぱり棒でたおれないように

の人と確認してみましよう。

なものはないか、寝ている場所は安全か、おうち

ところから落ちそうなものはないか、たおれそう

机のまわり、ベッドの近くなどを見回して、高い

なものはないか、寝ている場所は安全か、おうち

ところから落ちそうなものはないか、たおれそう

机のまわり、ベッドの近くなどを見回して、高い



地震のゆれは突然やってきます。

大きくゆれたときや、緊急地震速報

が発表されたときには、すぐに本棚

など危険なものから離れ、机の下に

かくれるなど身を守りましよう。

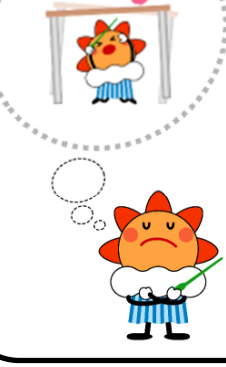
寝ているときに地震がおきるか

もしれません。

- 身のまわりに危ないものがないか確認しておく
- すぐに逃げられるよう、危ない場所(棚の近くの床など)はテープで目印
- ひなんするときに持ち出すものをリュックに入れて準備しておく
- ひなんする場所や安全な通り道を家族で確認しておく



緊急地震速報の訓練



熊本地震では、福岡でも緊急地震速報がテレビや携帯電話から何度も流れました。

地震から身を守るためには、緊急地震速報を見聞きしたときや、突然ゆれたときでも

(無意識のうちに) 反射的に身を守ることができるように、何度もくり返し訓練する

ことが大切です。

日頃から訓練をおこなうことで、地震がおこったときに、あわてないで身を守るこ

とができるようになります。